

美郷がいちばん、すきです美郷

ふたし 議会だより

第30号
2012.1.13

2 生まれかわる温泉

3 新たに「議会活性化検討会」立ち上げ

子どもたちの健やかな成長を願って
(熊野神社にて)

定例会概要	2
一般質問	6
所管事務調査	12
住民と議会との懇談会	14
広報視察研修	16
追跡レポート	17
キラリ美郷人	20

生まれかわる温泉



湯とびあ雁の里温泉

温水プール

12月定例会を、12月13日から16日までの4日の会期で開きました。
審議した議案は、湯とびあ雁の里温泉設置条例の全部改正など22議案。その全てを、原案のとおり可決・同意しました。
また、一般質問は5議員が登壇して町政をただし、陳情2件を採択、2件を趣旨採択としました。

これまで町の3温泉施設は、湯とびあ雁の里温泉を町が直営し、六郷温泉あつたか山と千畑複合温泉サンアールはそれぞれ別の第三セクターが運営してきました。しかし、近年3温泉施設ともに来客数が減少し、経営組織の一元化による安定経営と、サービスの充実や統一が求められていました。

今定例会では、この3温泉施設を4月1日より新たな第三セクター『美郷温泉振興株式会社』で管理運営する計画に関連した3つの条例改正案を審議し、全会一致で可決しました。

その主な内容は、町が直営の湯とびあ雁の里温泉の施設管理を指定管理者におこなわせる条

例改正と、この温泉に付帯する老人福祉センター雁が音苑の事業を社会福祉法人に委託することができるとする条例改正。また、千畑複合温泉サンアールに付帯した温水プールとテニスコートの管理運営を教育委員会に委任する条例改正です。

新年度より、町の3温泉施設は温泉経営に専念する新会社が管理運営する計画です。会社の経営理念は、営業活動を通じた町民の福祉向上、良質なサービスマスターの提供と健康の増進、観光事業を通じての町の交流人口拡大と活性化、農産物や商工業品の購入・販売を通じて地域経済の発展です。生まれかわる3温泉の波及効果に期待します。

年頭のあいさつ



美郷町議会議長
高橋 猛

昨年は、豪雪、大震災、豪雨と自然の猛威に苦しめられた一年でしたが、新年を迎え本年は穏やかな年であってほしいと願うものです。

早いもので合併して八年、また私共議会も任期四年の折り返しに入りました。これまで町は概ね順調に推移してき

議論を重ねることは大事なことであると思います。

これまでも議会は、新たな取り組みや見直し、改革をしてきたところですが、先月、現状における今後の課題について話し合い、その事について協議をする事とし、あらたに「議会活性化検討会」を立上げたところとす。制度改正や時代の変化に伴ってあるべき議会のすがたについて検討を重ねてまいります。

本年が皆様にとりまして、平穏なより良い年でありますよう祈念し挨拶いたします。

新たに『議会活性化検討会』立ち上がる

美郷町議会では、平成19年11月より平成20年10月まで『議会改革議員全員協議会』を立ち上げ、一、本会議と常任委員会出席での費用弁償廃止
一、臨時会での代表監査委員招集の取り止め
一、22人の議員定数を18人に削減
一、『美郷町議会の運営に関する基準』の見直し
一、『議会議録』の新たな公開
の5項目を改革しました。しかし、社会情勢や住民ニーズが時代とともに変遷していくように、議会改革にも終わりはないでしょう。

12月16日、議会では『美郷町議会意見交換会』を開催し、新たに『議会活性化検討会』の立ち上げを決めました。今後、座長を泉繁夫議会運営委員

長が努め、議員全員が構成員となつて議会改革を検討します。



安全・安心のまちづくりに『空き家条例』制定



昨年の中学生による除雪ボランティア

昨冬の大雪では、空き家の雪下ろしが問題化しました。その解消に、今定例会では『空き家等の適正管理に関する条例』を制定しました。

主な内容は、町民からの情報に基づいて町が空き家の実態を調査し、危険度が高いと判断した場合は、所有者に雪下ろしや建物の解体・撤去の助言や指導・催告をおこない、また、催告に従わない場合は所有者の住所・氏名を公表し、行政代執行（※）に踏み切ることも可能な内容です。

議会では、この条例を賛成多数（賛成15人・反対1人）で可決しました。

その他、今定例会では平成23年度一般会計の歳入・歳出それぞれに825万1千4百円を追加し、総額を1億1千8百

50万2千円としました。主な内容は、除雪機などを購入する『秋田くらしの安心サポーター推進事業』の868万6千円、おむつ交換台など

空き家等の適正管理に関する条例

費用の徴収範囲は

泉（美）議員 行政代執行した際に費用を徴収できる範囲はどこまでか。

住民生活課長 所有者、占有者、相続人、財産管理人などの空き家を管理すべき者だ。

泉（美）議員 法律上の範囲か。
住民生活課長 民法上で責任のある方々だ。

不明な場合はどうするか

吉野議員 代執行は義務者に文書で戒告するが、その義務者が不明な場合はどうするか。
住民生活課長 家庭裁判所や

を設置する『こどものえき』設置事業費補助金212万8千円などです。以下、本会議での主な質疑を要約しお伝えします。

けなかつた。民法上、管理責任は所有者であり町は粘り強く説得していきたい。
規則は定めたか
熊谷（良）議員 条例を施行するための規則は定まっているか。
住民生活課長 条例の議決後に明文化したい。

反対討論

熊谷（良）議員 条例は必要と思うが、成田闘争を思い出して行政代執行に引つかかる。当局にお墨付きを与えて良いものか、弱いものいじめにならないか、色々考えると慎重にならないので反対する。

賛成討論

吉野議員 昨冬の雪害を勘案すると非常に大きな問題で、放置すれば人命にかかわることもあるだろう。最悪の事態にならないよう町が指導することは当然のことであり賛成する。

副町長 指定管理を受けるものの裁量で、パスポートを売り出したいという求めがあれば対応する。

深澤（均）議員 サービスを低下させないような指導を求めろ。

副町長 指定管理者が温泉を経営していくうえでの採算性を考えて検討するだろう。

平成23年度一般会計補正予算

ナラ間伐材の利用方法は

熊谷（隆）議員 秋田県未利用広葉樹資源活用事業交付金はナラ枯れ関連の予算と思う。昔、ナラの間伐材は炭焼きやキノコのほだ木に利用した。この事業ではどのような使い方をするか。
農政課長 この事業の内容は

熊谷（隆）議員 調査に関連するが、東京電力の放射能漏れにより福島県ではキノコ栽培での原木やチップ材の流通が問題になった。これに関する秋田県での情報はどうか。
農政課長 菌床椎茸の原材料で、福島から入るもの一部に放射性セシウムが見つかったという情報が入ったが、秋田県ではでていない。今後、ナラの間伐材の有効活用について情報提供したい。

泉（美）議員 こどものえき事業ではおむつ交換台をどこに設置するか。
福祉保健課長 おむつ交換台設置施設は10カ所で、役場庁舎、学友館、公民館、保健センターの行政機関と、ニテコ名水庵、湧子ちゃん、道の駅せんなん、あつたか山、ラベンダー園、大台野広場管理棟だ。いずれも男女を問わず利用できるよう多目的トイレに設置する。
また、すでに交換台を設置している場所もあるが、そこにはベビーカーを整備する。

湯とびあ雁の里温泉設置条例の全部改正

パスポート券がなくなった理由は

深澤（均）議員 利用料金表にこれまであったパスポート

券がない。毎日入浴する方からの要望が強いがなくなった理由は

※国や自治体などの行政機関の命令に従わない人に対し、その本人に代わって行政機関側が強制的に撤去や排除を行い、その費用を請求することができる法律。

ナラ枯れ防止と松くい虫対策は 町長「適期防除に努める」



武藤 威 議員

議員 ナラ枯れを防ぐ決め手は、被害木の早期発見・早期防除しかなく、地区住民の協力が必要となることから、樹種、時期、場所、ポイント、連絡先など町でも啓蒙する必要があると考える。

また町木の松の被害対策に薬剤散布や樹幹注入・伐採駆除をおこなっているが、センチュウを保持したマツノマダラカミキリが羽化して健全な松に飛んでいく前の5月下旬までに対処すべきと考えるが



千屋松並木

町の対応をたずねる。

めていく。

水圧は大丈夫か

議員 簡易水道事業による消火栓増設が進む中、近くにある消火栓2カ所を同時に使用した場合に水圧が低くなり、火元に届く状況ではないようだが改善されているか。

町長 直径75ミリメートルの同一系統で2カ所を同時に開栓した場合、水圧が低下することがある。しかし、これを改善するため口径の大きい管への布設替えは現実的に困難だ。そのため、自然水利の情報や防火水槽の設置などにより対処していく。

また、被害木を伐倒し薬剤によりくん蒸してカミキリの幼虫を駆除する伐倒駆除は、一丈木公園で5月6日から6月25日にかけてと、9月22日から10月17日にかけて2回実施している。今後も、県の示す防除スケジュールを基本的に適期防除、適期伐倒駆除に努

一般質問

5議員が

13項目を質す

ただ

質問者

武藤 威 議員

- ◇ナラ枯れ防止と松くい虫防除について・・・掲載
- ◇貯水槽整備、さらに充実を・・・掲載
- ◆地すべり危険地帯の調査対応を・・・松原観音様から一丈木にかけての危険度調査を。
答弁) 県や町の調査では特に問題はなかったが念のため再度県に働き掛ける。
- ◆今後の水環境学習交流について・・・水環境学習の取り組みを拡充すべきだ。
答弁) 小学校だけでなく、町民全体や県内外の方々の交流も含め検討する。

森元 淑雄 議員

- ◆平成24年度予算編成について・・・地方交付税の額や予算規模などを聞く。
答弁) 地方交付税は1億円位の減だが予算規模が縮小とは言い切れない。

◇住宅リフォームに関する補助金の継続について・・・掲載

◇六郷中学校外構工事について・・・掲載

熊谷 隆一 議員

- ◇横手盆地東縁北部の地震発生予測について・・・掲載
- ◇ホテルマップやイバラトミヨ等の生息マップを作っては・・・掲載

深澤 均 議員

- ◇減り続ける年少人口について・・・掲載
- ◇人口減少に対応した町づくりについて・・・掲載

泉 美和子 議員

- ◇子どもの医療費助成制度の拡充について・・・掲載
- ◇雪下ろし対策について・・・掲載

六中テニスコートの周辺整備を 教育長「年度内に実施する」

議員 ①六郷中学校に新設したテニスコートの回りの環境整備がまだなされておらず、落葉や落木が散乱している状態だ。落ち葉が腐って人工芝に入り込んだ場合に目詰まりし、雨水が浸透しない。早急に対策を講じなければならぬと思うが町の対応をたずねる。

②駐輪場は、なぜ自転車降雨の影響を受けやすいような屋根構造になっているのか。

教育長 ①管理者である学校と連携をとりながら、コートの落葉収集器具を配置し、管理を徹底させていきたい。また、周辺樹木の位置などを確認して、影響する木の枝の剪定や伐採を年度内に実施

したい。

②広い屋根面積の雪下ろし作業を軽減するために滑雪を優先した構造であり、急勾配となっている。

また、東側駐輪場は防犯上、開口部を西向きにしているのが風の影響を受けやすいと認められる。採光性や年間の気象条件などを検証したうえで、早急に対応したい。

住宅リフォーム支援の継続を

議員 住宅リフォーム支援事業は、経済波及効果が大きく経済の活性化に寄与している。また、業者や町民が大変喜んでいて、この支援事業を来年度も継続すべきだ。

町長 町単独での補助による効果というよりは、県事業との連携によって大きな効果を得ていると認識しているので、来年度については県の動向を注視していきたい。

木造住宅耐震診断や耐震改修工事費、下水道接続工事費、太陽光発電システム設置費補助金などは、県事業に関わらず24年度も継続したい。



新設した駐輪場



森元 淑雄 議員

研究機関の情報提供を 町長「周知を図る」

議員 新聞報道では、明治29年の陸羽地震の震源地となった真昼山地東縁と横手盆地東縁北部の断層帯活動が活発化しており、継続して監視すべきとあった。

その中で、横手盆地東縁断層帯北部の地震発生率が28倍に高まっているとあり地震発生への不安を感じる。町民への研究機関の情報提供と今後の警戒対策について問う。

町長 町では、美郷町に関連する報告が発表され次第、広報などを通じて周知を図り早急に対策を講ずる。町民に配布している地震防災マップな

どをもとに、日頃から備えを意識していただくよう啓発に努める。

また、美郷町地域防災計画の見直しによる体制強化や防災備品、備蓄品、防災設備の充実に取り組み、防災組織育成指導者研修会の開催など自主防災組織の育成強化と、耐震診断や補強

工事への助成で耐震強化にも努めたい。

生息マップ作成を

議員 水をキーワードとした町づくりの中で、町民の環境意識の高揚や観光資源としての保護も含め、ホタルの見られる場所や町の魚のイバラト

ミヨの生息地マップを作つてはかがが。

町長 イバラトミヨは、絶滅危惧種に指定されており、観光資源として捉えるよりは、その生息環境を守る意識や行動が町には大切と認識している。ホタルについても同様で、多様な生物が生息できる自然環境を次世代に継承することが私達の責務だと考え、ご提案のマップ化は考えていない。



熊谷 隆一 議員



東京都・御田小学校の清水観察会

対象年齢の拡大を 町長「町単独での拡大は 考えていない」

議員 少子化対策の一環として開設された県の結婚支援センターの活動状況やそれに対する町のかかりと取り組みは。

また、減少し続ける年少人口をどう受け止めているか。減少の勢いを止める新たな試みや具体策はあるか。



深澤 均 議員

議員 県は子ども医療費助成制度について、これまでの就学前・乳幼児から小中学生へ対象年齢の拡大を検討するための「福祉医療制度の見直しに関する意向調査」を行ったが、町の内容をたずねる。また、この制度は町独自でも拡大し、所得制限・一部負担の廃止と国保ペナルティーに対する県補助を5割に引き上げるよう要望すべきだ。

町長 子ども医療費助成制度を拡充する理由の論点整理と各市町村のコンセンサスが重要であり、財源なども含め整理ができれば賛成と回答し、また現所得制限と一部負担については、子育て対応という観点から廃止して全て県の制度対象になるよう回答した。町単独での助成拡充は現時点では考えていない。

年少人口減をどう受け止めるか 町長「危機感を有している」

町長 結婚支援センターは、秋田市、横手市、大館市の3カ所に設置されており、結婚に関する相談や出会いの場、イベントなどの情報提供と会員制パートナー検索システムの運営をおこなっている。現在センターへの登録状況は全県で826人だが、美郷町では20人にとどまっている。

町では、広報やホームページを通じ登録や募集の周知に努めている。また年少人口については、平成17年と22年の国勢調査で2767人が2369人と14.4%の減少率で危機感を有している。

子育て環境の整備の充実や、若者が定住しやすい環境整備

の強化策を来年度予算案に盛り込みたい。

農家負担の軽減を

議員 ①農業は、人口減少や高齢化の進行、後継者不足に直面しているのが現状で、大区画整備が必須だ。基盤整備事業の推進では、より農家負担を軽減すべきだ。

②人口減少にもなつて増えている空き家の適正管理について、町ではどのように捉えているか。今後の対応についてたずねる。

町長 ①これまで農業者の意志を尊重しながら、経営や作業の効率化を考えた大区画画

場整備に支援をしている。受益者負担の軽減や補助の嵩上げについては、一定の公平性を保てるように配慮し決定している。

今後も、財政状況を鑑み関係機関と連携を図りながらできるだけ支援策を講じていく。②基本的に空き家は個人財産であり、所有者が適正な管理をする事が前提だ。しかしながら近年、所有者が見あたらないうちに見受けられ、今定例会に『美郷町空き家等の適正管理に関する条例』案を提出した。

雪下ろし対策に 雇用助成金を

議員 昨冬の豪雪では雪下ろしをなかなか頼めず、高齢者や障がい者世帯にとつて大変な状況が続いた。その対策として安全知識と専門技術を備えた人材育成が必要だ。町内の雪下ろし協力者に、雇用助成金で育成支援する考えはないか。

また、空き家の雪下ろしが問題となったがその対策をたずねる。

町長 高齢者世帯などの除雪作業を想定した「軽度生活援助事業」は、昨年度133人の利用があった。雪下ろしは危険であり、高齢化が進む本



泉 美和子 議員



昨冬の豪雪

町では課題として認識しているが、雇用助成金での人材確保は考えていない。空き家対策は、空き家などが放置され危険な状態になることを防止することを目的に、本定例会に条例案を提出したのでご審議いただきたい。

事業効果を認める

総務常任委員会は11月1日、産業建設常任委員会は11月21日に委員会を開催し、10月17日の議会臨時会で付託された閉会中の所管事務調査を実施しました。その概要と意見内容を掲載します。

総務常任委員会

地域活性化交付金の実施状況

平成22年度一般会計補正予算に計上し、平成23年度の繰越明許費となった『地域活性化交付金事業』は、「きめ細かな交付金」と「住民に光を注ぐ交付金」の2本立てとなっており、総額は2億7019万7千円の事業費です。

調査意見

未契約のものが3件あるが、中央行政センター照明器具交換工事は指定管理者との調整が必要で、11月中に発注予定

だ。南野球場PCフェンス扉修繕は、野球シーズン終了後に発注予定だ。また、図書館蔵書整備は、逐次新刊図書を定期的に購入する体制をとっている。

非常に多岐にわたる事業工事内容だが、今まで事業化されていない分野まで交付金を使っており、事業効果が非常に高いと認められる。

公の施設を管理運営する指定管理

現在、町では12の施設に指定管理者制度(※)を導入し、10団体がその管理にあたっています。

指定管理者の選定は、副町長を委員長とし各担当課長で組織した「指定管理者選定委員会」を設置して審査をおこなっています。

調査意見

指定管理者の選定にあたり、町職員のみで構成せず、選定過程の透明性を高めるため有識者や一般町民が入ることが望ましいのではないかと検討されたい。

また、行政センターの基本協定では、修繕費用の負担上限を明確に示していない。実際は、その都度町との協議をおこない修繕費用の負担者を決定しているようだが、とも

※公の施設の管理・運営を民間事業者を含めた幅広い団体に代行させることができる制度。



すれば多額の修繕を要する状態に至るまで放置されるケースが生じるのではないかと懸念される。

大規模災害に対する総合的な防災対策

3月11日の東日本大震災を教訓とし、町の今後の大震災に対する総合的な防災対策(初動体制、情報収集と伝達、避難所、備蓄品など)についての現状と課題を調査しました。

調査意見

災害が発生した場合、初動を発揮する災害対策本部が設置されるなどのとるべき体制が確立されている。特に、職員にはマニュアルが示されており、手順やチェックシートまで準備されている。また、総合防災訓練を実施し、東日本大震災後に整備した防災資機材の操作・点検をおこなっている。

3月11日の大震災を教訓とし、災害に対する危機管理が重要となっているが、特に町職員がこの緊張感を継続・維

持できるか、防災・危機管理を経験させる業務・人事管理が大切だ。

産業建設常任委員会

平成23年度工事の発注状況

◆発注件数 61件(建設課44件、農政課6件、商工観光交流課11件)

◆合計契約額

3億5999万6070円

◆平均落札率 94.7%(産業建設常任委員会所管分)

調査意見

特に工事の遅れなどもなく計画通り施工されていた。一部に落札率の低いものがあったが品質や信頼性が低下することのないよう適切な管理監督に努められたい。

道の駅雁の里せんなん曲り家改修工事と直売所床修繕工事は7月22日竣工し適切に施工されていた。直売所の営業休止期間を短くするためや今後のメンテナンスを考慮した

施工がされていた。飯詰駅前多目的スペース整備工事は、10月12日で竣工し適切に施工されていた。このスペースは災害時は避難場所としての利用となるが平時は駅前の立地を生かした有効利用に努められたい。

地域活性化交付金事業の工事状況

◆発注件数 30件

◆合計契約額

7278万2220円

調査意見

主な工事は道路の舗装・補修、施設の修繕、施設の備品購入などで地域の実情や活性化ニーズに応じたきめ細やかな事業であり今後の効果が期待される。

道の駅雁の里せんなん曲り家



飯詰駅前多目的広場

第8回 住民と議会との懇談会

多数の参加で
活発な意見交換

10月24・25・26日の3日間にわたり町内9会場でおこなった「住民と議会との懇談会」の内容を報告します。

第8回目となった今回は、過去最高の105人の参加をいただき、活発な意見交換がおこなわれました。議会では、全体検討会を開き、11月9日に町へ意見書と

要望書を提出し、11月30日に回答を受けました。以下、町へ提出した主要な要望事項と町の回答を要約しお伝えします。



大柳会館にて

災害時の供給判断は

要望 震災時、自主防の活動として会館を開放したが、水道は地元の判断で住民に供給できるか。水道料金はどうか。

町の回答 町として管理できないので地域の防災組織の判断での対応をお願いする。給水したい場合は、基本的に水道料金もそれぞれの負担になる。

涵養池の美観整備を

要望 地下水の涵養池を整備し、美観を整えてほしい。

町の回答 草刈りや泥上げ、ゴミなどの除去を定期的に実施している。今後も保全と適切な維持管理に努めていく。

機織清水の景観は

要望 機織清水は、藻が発生し景観が悪い。改善して欲しい。

町の回答 周辺に大きな樹木がなく、水面が比較的広いことから、太陽光が遮られず水温が上昇して藻が発生しやすい。

い環境と考えられる。根本的な解決策が見つかっていない状況だ。

町としても保全に努めているが、地域でも引き続き清掃にご協力いただきたい。

舗装の改善を

要望 町道本堂城回2号線（本堂・館間・百目木間）で、農業集落排水マンホールが高く、危険な箇所が数カ所ある。改善してほしい。

町の回答 車や自転車の通行に支障があると確認された3カ所については、段差などの改善のため11月末に修繕工事を発注した。

手摺りパイプの設置を

要望 赤城会館西側の側溝が1メートルほどの深さで危険だ。手摺りパイプを設置してほしい。

町の回答 24年度の整備計画で対応していく。

道路の拡幅を

要望 畑屋高野・鏝田馬町線が改良舗装となるが、その北側の街道東柳田線の拡幅改良を要望する。

町の回答 畑屋高野・鏝田馬町線の改良工事を完了して5年が経過した。街道東柳田線については、この工事が完了してから検討する。

順次修繕していく

要望 寺町通りの平板ボックスが壊れている。観光コースでもあり補修してほしい。

町の回答 痛みの激しい箇所から順次修繕していく。

側溝対策を

要望 わくわく園前のけやきの葉が、歩道を横断している側溝に詰まるので対策を講じてほしい。

町の回答 当該箇所に目詰まり対策を実施した場合は、別の箇所での目詰まりを引き起こす可能性があり、現時点での即応は難しい。

交差点の改良を

要望 関田円形分水西側の県道と交差する町道は、斜め進入なので事故が多い。交差点を改良してほしい。

町の回答 県公安委員会との協議や用地確保など多くの課題があり難しい。カーブミラーを新製品に更新し、安全確保に努める。

アカシヤの伐採を

要望 丸子川の大畑橋下流のアカシヤの木を伐採してほしい。

町の回答 県に要望していく。

河川の浚渫を

要望 出川が雪捨て場となっている関係で、堆積土が増え続けまた雑木も多い。地元だけの作業では限界で浚渫してほしい。

町の回答 橋本橋から釜蓋橋までの区間について、県に計画的な浚渫を要望していく。

社会人の利用は

要望 美郷野球場は中学校で利用しているが、一般の利用者はどうなるのか。

町の回答 美郷野球場は、社会体育施設として今後も生涯学習課が所管するが、美郷中

緊急時の対応は

要望 統廃合によつて学校からの距離が遠くなる。病気や怪我など緊急時の対応は万全か。

学校の野球部も定期的に利用する。一般の利用者からの申し込みは、その都度中学校と調整し、町の大会などは最優先的に日程を確保していく。



河川愛護会の草刈り作業

なんと？ なったべな

How did it become it afterwards?

Vol.4

スクールバス運行 具体的な準備が進む

「住民と議会との懇談会」で提案された意見や要望が町へ伝えられ、その後まちづくりにどう活かされたかを追跡レポートします。

美郷中学校の 開校に向かって

住民 学校統合で遠くなる子どもたちの通学が心配だ。
住民 スクールバス通学で子どもたちの体力低下にならないか。

平成23年開催の「住民と議会との懇談会」より



スクールバス

- 乗車対象は 6Km 以上とする。
- 冬期間は 4Km 以上とする。
- 部活終了時にも運行する。



第9回臨時会

解体跡地を舗装

10月17日第9回臨時会を開催し、平成23年度一般会計予算の歳入歳出それぞれに1556万3千円を追加して、総額を117億8035万6千円としました。
主な内容は、南行政センター前の旧民族資料館等解体跡地舗装工事費1037万1千円や、千畑温泉サウナストープ取替工事費94万5千円などで、原案を全会一致で可決しました。

第10回臨時会

職員給料引き下げ

11月29日第10回臨時会を開催し、議会議員の報酬、常勤特別職・一般職員の給与に関する条例改正案と、平成23年度一般会計予算の歳入歳出それぞれに217万2千円を追加し総額を117億8252万8千円とする補正予算案を賛成多数（賛成13人・反対2人）で可決しました。
（議会議員・常勤特別職）
平成24年4月1日から、期末手当を0・05カ月引上げる。
【反対討論】
泉（美）議員 依然として厳しい経済状況のもと、来年度の実施とはいえ、議会議員と常勤特別職の引き上げは反対だ。
（一般職）
秋田県人事委員会の勧告に準じ、一般行政職の給料を平均0・26%引下げ、期末手当を0・05カ月引上げる。
【反対討論】
泉（美）議員 一般職の給料は3年連続の引き下げで、民間賃金と連動して地域経済に与える影響も大きく反対だ。

議会広報が町民との架け橋

11月7・8日、美郷町議会広報特別委員会は、岩手県紫波町と宮城県大和町の議会広報の紙面づくりを視察しました。両誌とも平成22年度町村議会報全国コンクールで入賞しているすばらしい議会広報です。
紫波町では、議会広報のモニター募集や町民の声の欄を設けるなど町民に親しまれる紙面づくりに努め、町民と議会をつなぐ大事な架け橋との認識のもと委員みんなが取り組んでいる姿勢がとても印象的でした。
大和町では、インパクトのある写真や毎年度一般競争入札で安価に努めた紙面で、学ぶべき点も多く充実した研修でした。



岩手県紫波町での視察



藤井康子氏(再任)
(琴平)

【人権擁護委員の推薦】
次の方の推薦に同意しました。



坂本喜七氏(新任)
(千屋北部)



高井真純氏(新任)
(琴平)

【美郷町教育委員の選任】
新たに次の方々の教育委員選任に同意しました。

人事

請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- ◇「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書〔全員賛成〕」
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 中村 秀也
- ◇「介護職員待遇改善交付金の継続」の意見書採択を求める陳情書〔全員賛成〕
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 中村 秀也

趣旨採択としました

- ◇無年金・低年金者へ基礎年金国庫負担分3万3千円の支給を求める陳情〔趣旨採択14人：採択2人(武藤威・泉美和子議員)で趣旨採択〕
全日本年金者組合
秋田県本部執行委員長 渡部 雅子
大曲支部執行委員長 石渡 志夫
- ◇年金受給資格期間を10年に短縮することを求める陳情〔趣旨採択14人：採択2人(武藤威・泉美和子議員)で趣旨採択〕
全日本年金者組合
秋田県本部執行委員長 渡部 雅子
大曲支部執行委員長 石渡 志夫

みさと議会だより 第29号 クイズ

★クイズ回答

- 【問1】平成22年度の実質公債費比率は〇〇.〇%となりました。
【回答】 14.2
- 【問2】〇〇〇の備えに、みさと地域見守りチームを立ち上げました。
【回答】 災害時

◎クイズ当選者

- 抽選の結果、次の方が当選しました。
泉谷 みよ子様
高橋 光子様
築田 悦子様

第9回議会臨時会提出議案一覧

議案第79条 平成23年度美郷町一般会計補正予算第6号 〈全員賛成で原案可決〉

第10回議会臨時会提出議案一覧

- 議案第80条 美郷町駅前多目的広場設置条例の制定について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第81条 美郷町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 〈賛成13人：反対2人で原案可決〉
- 議案第82条 美郷町町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について 〈賛成13人：反対2人で原案可決〉
- 議案第83条 美郷町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について 〈賛成13人：反対2人で原案可決〉
- 議案第84条 美郷町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について 〈賛成13人：反対2人で原案可決〉
- 議案第85条 平成23年度美郷町一般会計補正予算第7号 〈賛成13人：反対2人で原案可決〉
- 議案第86条 平成23年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第4号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第87条 平成23年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第3号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第88条 平成23年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第3号 〈全員賛成で原案可決〉

第11回議会定例会提出議案一覧

- 同意第1号 美郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 〈全員賛成で原案同意〉
- 同意第2号 美郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 〈全員賛成で原案同意〉
- 議案第89号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第90号 財産の譲与について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第91号 工事請負契約の一部変更について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第92号 美郷町空き家等の適正管理に関する条例の制定について 〈賛成15人：反対1人で原案可決〉
- 議案第93号 美郷町湯とびあ雁の里温泉設置条例の全部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第94号 美郷町千畑複合温泉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第95号 美郷町老人福祉センター雁が音苑設置条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第96号 美郷町道の駅雁の里農業振興施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第97号 美郷町農業振興施設の設置及び管理に関する条例の廃止について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第98号 指定管理者の指定について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第99号 指定管理者の指定について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第100号 指定管理者の指定について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第101号 指定管理者の指定について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第102号 指定管理者の指定について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第103号 平成23年度美郷町一般会計補正予算案第8号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第104号 平成23年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第3号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第105号 平成23年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第5号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第106号 平成23年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第2号 〈全員賛成で原案可決〉
- 発議第9号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出について 〈全員賛成で原案可決〉
- 発議第10号 「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書の提出について 〈全員賛成で原案可決〉

議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全会一致で可決しました。議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	議決結果	
議員名	中村美智男	熊谷良夫	伊藤福章	武藤威	森元淑雄	中村利昭	吉野久	福田守	泉美和子	泉繁夫	杉澤隆一	澁谷俊二	深澤均	戸澤勉	熊谷隆一	飛澤龍右工門	深沢義一	議決結果	
◎平成23年第10回議会臨時会																			
議案第81号	○	○	欠	●	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	○	○	欠	●	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	○	○	欠	●	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第84号	○	○	欠	●	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	○	○	欠	●	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
◎平成23年第11回議会定例会																			
議案第92号	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

シリーズ キラリ美郷人 vol.25

キラリ美郷人は、学校シリーズ第9回目として仙南中学校の活動を紹介します。



「百年先を思うものは人を育てる。」は、管仲の「三樹の教え」に由来します。「百年先」、仙南中学校も、昭和35年、「大仙南村百年の計」を立て、三中学校が統合して誕生しました。当時の「広報せんなん」には、「三樹の教え」のように「百年先を見据えた人づくり」のための統合であると書かれています。

仙南中学校は、開校以来、数々の輝かしい歴史を刻んできました。その一端を紹介しますと、全国大会に名乗りをあげた競技は、相撲、バスケットボール、バレーボール、卓球、駅伝、スキー、陸上競技の七つを数えます。全県総体二連覇のバドミントン、

これまでの道 これからの道 ～仙南中心にあり～ 仙南中学校

全県準優勝の野球も輝かしい足跡です。日本学生科学賞9回受賞の科学部、県コンクール金賞の吹奏楽、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会出場など、運動だけではなく文化的活動にも活躍の記録が残されています。まさに文武両道に秀でた学校であり、卒業生はもちろん、地域にとっても、生徒にとっても「我が愛する母校、中学校」です。

その学校が今年度末で閉校となります。当然のことながら誰もが学校がなくなることを惜しみます。誰もができるならいつまでもあり続けてほしいと願います。

そんな中で、「仙南中はなくなるんじゃない。みんなの心の中に残すんだ。」との思いが湧き上がり、生徒会テーマが「これまでの道 これからの道～仙南中心にあり～（心にあり）」となりました。

10月10日には、このテーマをプリントしたTシャツを着た全校生徒が、ゴミ拾いをしながら地域内を徒歩で一巡し、あらためて「ふるさとの風」の優しさ、心地よさに触れ「仙南中生でよかった」との思いを強くしました。

校長 黒澤 一紀

? クイズ

問1 新たに「議会○○○検討会」立ち上がる。

問2 安全・安心のまちづくりに「○○○条例」制定。

…○に入る言葉や数字などをお答えください …

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書きお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10 美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成24年2月15日（当日消印有効）

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。傍聴をお待ちしております。

美郷町議会事務局 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp
美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。